

〈平成17年（2005年）基準〉

I 調査結果の概要

1 概況

平成23年の農産物価格指数（平成17年を100とする。以下同じ。）の総合は98.6となり、前年に比べて3.2%低下した。また、農業生産資材価格指数の総合は112.4となり、前年に比べて2.3%上昇した。

この結果、農業交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は87.7となり、前年に比べて5.4%低下した。

図1 農業物価指数の推移(平成17年=100)

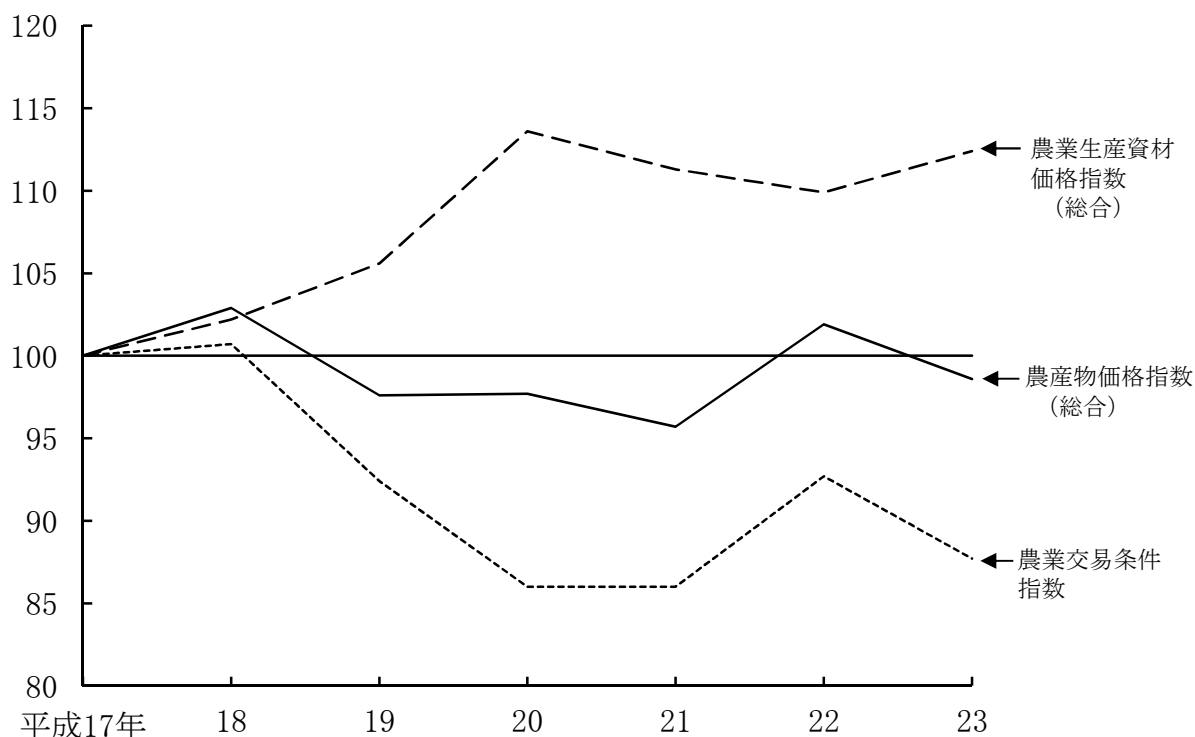


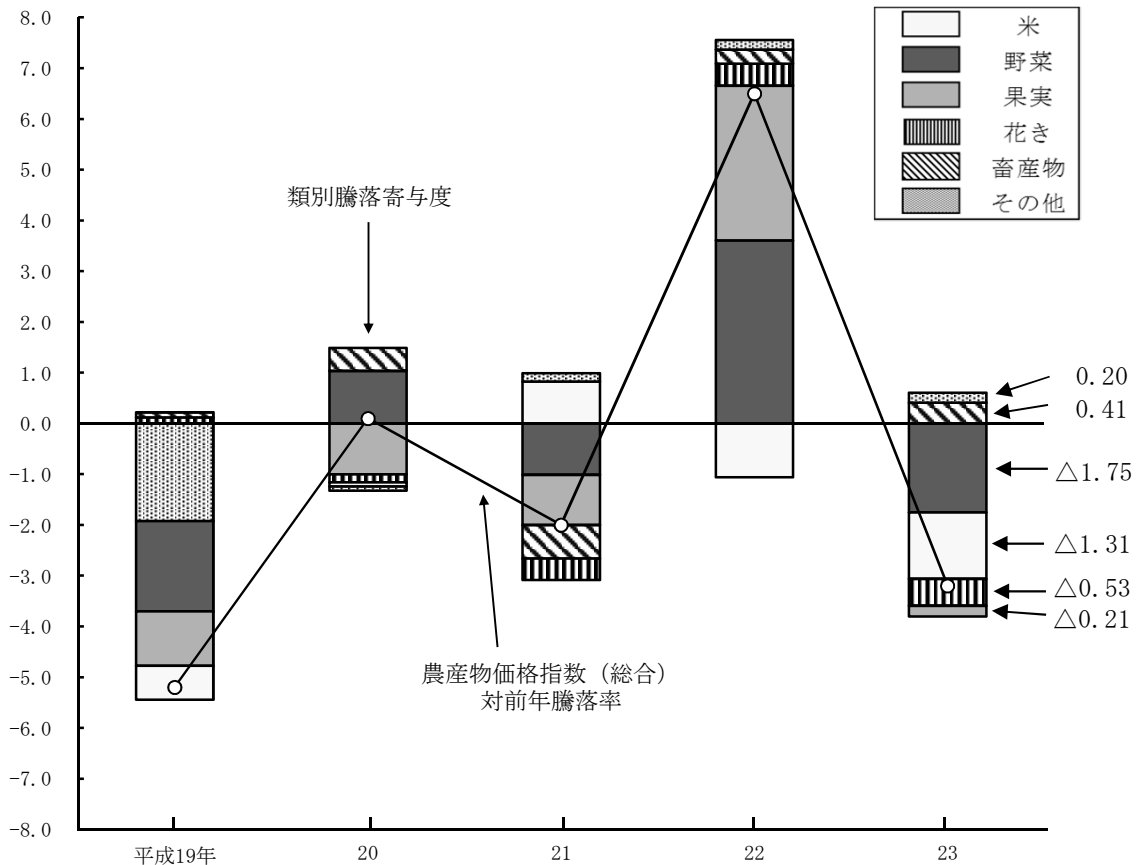
表1 農業物価指数の推移

区 分	平成17年=100							
	平成17年	18	19	20	21	22	23	
農産物価格指数（総合） ①	100.0	102.9	97.6	97.7	95.7	101.9	98.6	
農業生産資材価格指数（総合） ②	100.0	102.2	105.6	113.6	111.3	109.9	112.4	
農業交易条件指数 ①/②×100	100.0	100.7	92.4	86.0	86.0	92.7	87.7	

2 農産物価格指数

平成23年の農産物価格指数（総合）は98.6となり、前年に比べて3.2%低下した。これは、畜産物等の価格が上昇したものの、米、野菜、花き等の価格が低下したことによる。

(%) 図2 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、農産物価格指数（総合）の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかである。

ア 米

米は88.5で、前年に比べて5.8%低下した。これは、需給の緩和傾向から22年産米の価格が低下したことによる。

イ 野菜

野菜は107.6で、前年に比べて6.4%低下した。これは、9月の台風等の影響により一時的な価格の上昇がみられたものの、夏の記録的猛暑等の影響により高値で推移した前年に比べ相対的に価格が低下したことによる。

ウ 花き

花きは91.2で、前年に比べて7.4%低下した。これは、東日本大震災による需要の減少等から価格が低下したことによる。

エ 畜産物

畜産物は101.8で、前年に比べて2.0%上昇した。これは、前年の猛暑や口蹄疫の影響による種付遅れ等により、生乳の生産量や肉豚の出荷量が減少したこと等から生乳及び肉豚の価格が上昇したことによる。

表2 農産物価格指数の推移

平成17年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成22年	23	平成22年	23	平成22年	23
				%	%	%	%
農産物総合	10,000	101.9	98.6	6.5	△ 3.2	6.48	△ 3.24
米	2,468	93.9	88.5	△ 4.2	△ 5.8	△ 1.03	△ 1.31
麦	230	53.6	41.2	△ 16.0	△ 23.1	△ 0.37	△ 0.28
雑穀	6	116.3	87.2	1.1	△ 25.0	0.00	△ 0.02
豆	124	75.7	74.1	△ 1.8	△ 2.1	△ 0.02	△ 0.02
いも	263	111.3	112.8	18.4	1.3	0.48	0.04
野菜	2,414	115.0	107.6	14.2	△ 6.4	3.43	△ 1.75
果菜	1,083	110.5	108.8	8.2	△ 1.5	0.89	△ 0.18
葉茎菜	935	115.3	99.2	22.0	△ 14.0	2.06	△ 1.48
根菜	263	123.3	118.0	17.9	△ 4.3	0.47	△ 0.14
まめ科野菜	133	132.7	135.1	5.7	1.8	0.08	0.03
果実	1,045	119.4	117.4	30.5	△ 1.7	3.19	△ 0.21
工芸農作物	626	83.5	91.3	△ 0.1	9.3	△ 0.01	0.48
花き	741	98.5	91.2	5.9	△ 7.4	0.44	△ 0.53
畜産物	2,075	99.8	101.8	1.3	2.0	0.27	0.41
鶏卵	115	99.0	104.8	11.0	5.9	0.13	0.07
生乳	829	109.0	110.5	△ 1.3	1.4	△ 0.11	0.12
肉畜	792	95.9	97.2	1.7	1.4	0.13	0.10
子畜	300	87.5	91.7	6.2	4.8	0.19	0.12
成畜	39	79.0	78.1	△ 1.1	△ 1.1	△ 0.00	0.00
稲わら	8	96.1	100.0	△ 9.0	4.1	△ 0.01	0.00

注：騰落寄与度とは、農産物価格指数(総合)の対前年騰落率を各類別指数の対前年騰落率がどの程度の割合で変化させたかであり、算式は次のとおり(以下同じ。)

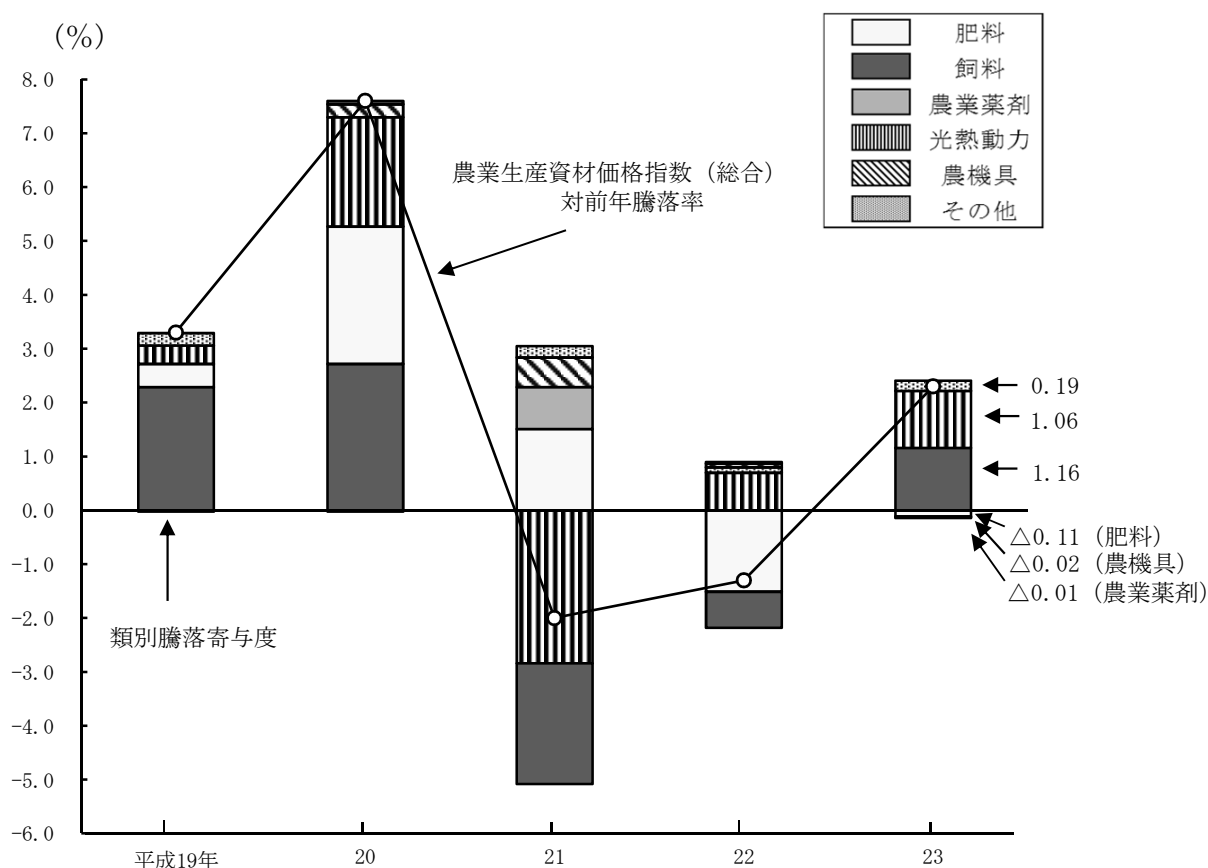
$$\text{騰落寄与度}(\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

3 農業生産資材価格指数

平成23年の農業生産資材価格指数(総合)は112.4となり、前年に比べて2.3%上昇した。

これは、肥料等の価格が低下したものの、飼料、光熱動力等の価格が上昇したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



ア 肥料

肥料は131.4で、前年に比べて0.8%低下した。これは、原材料の輸入価格の低下等から複合肥料の価格が低下したことによる。

イ 飼料

飼料は124.2で、前年に比べて7.3%上昇した。これは、とうもろこしの国際相場高騰等から配合飼料の価格が上昇したことによる。

ウ 光熱動力

光熱動力は125.5で、前年に比べて10.9%上昇した。これは、原油価格が上昇したことによる。

表3 農業生産資材価格指数の推移

平成17年=100

農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		平成22年	23	平成22年	23	平成22年	23
				%	%	%	%
農業生産資材総合	10,000	109.9	112.4	△ 1.3	2.3	△ 1.26	2.27
種苗及び苗木	661	102.3	102.5	△ 0.4	0.2	△ 0.03	0.01
畜産用動物	428	88.9	91.0	3.9	2.4	0.17	0.08
肥料	1,054	132.5	131.4	△ 10.7	△ 0.8	△ 1.13	△ 0.11
飼料	1,512	115.8	124.2	△ 4.1	7.3	△ 0.61	1.16
農業薬剤	916	110.3	110.2	0.4	△ 0.1	0.03	△ 0.01
諸材料	477	110.6	110.8	△ 0.5	0.2	△ 0.02	0.01
光熱動力	945	113.2	125.5	7.8	10.9	0.74	1.06
農機具	1,841	104.9	104.8	0.4	△ 0.1	0.07	△ 0.02
自動車・同関係料金	547	101.6	101.8	0.5	0.2	0.03	0.01
建築資材	497	107.3	109.8	△ 0.7	2.3	△ 0.04	0.11
農用被服	38	101.8	102.6	△ 0.2	0.8	△ 0.00	0.00
賃借料及び料金	1,084	103.2	102.9	0.3	△ 0.3	0.03	△ 0.03